

姉妹町・高知県の津野町へ交換留学

訓小・居小4人が訪問し交流

訓子府町の姉妹町・高知県津野町に訓子府町の児童4人が、交換留学生として1月8日から15日まで訪問しました。

訪問したのは、訓子府小学校6年の田中駿汰くん、堰代浩平くん、松田麻愛さん、居武士小学校6年の宮内盛弥くん。

津野町では、ホームステイしながら、中央小学校に通いました。

4人は、出発前に初めての土地を訪問することから緊張していましたが、受け入れ家庭や通学する小学校の児童ともすぐに仲良くなり、交流を深めていました。

※津野町での歓迎式の様子など20ページ「姉妹まちからのお便り」にも掲載しています。



中央小学校で、全校児童に紹介された留学生（右）と高知龍馬空港で記念撮影（左）



高知県物産展 津野町コーナーにぎわう

ミス高知らも参加

高知県の観光と物産展が1月15日から20日まで北見市で開催されました。姉妹町の高知県・津野町からも多数の特産品が販売され、にぎわいました。

「姉妹都市コーナー」に津野町産のしょうが、さつまいも、里いも、煎茶、鶏卵の「土佐ジロー」などが販売されたほか、津野町産オリジナルの大福「満天の星」も昨年に続き販売されました。

期間中、津野町の株式会社「満天の星」の山崎聡子さんと本町職員が販売員となり、姉妹都市コーナーで津野特産品を販売しました。

この物産展に、昨年に続き参加した「ミス高知」の谷脇陽香さんと土佐おもてなし勤王党の「武市半平太」さんらが、1月14日に本町を訪れ、「また、今年も来させていただきました。物産展にぜひお越しください」とPRしていました。



リコーダーコンテストで全国切符獲得

訓小スクールバンド

1月10日に札幌市で開かれた第28回全道リコーダーコンテストに出場した訓子府小学校スクールバンドが、金賞と特別賞を獲得、同時に4年連続の全国大会への出場権も得ました。全国大会は、3月30日に東京都で開かれます。

訓小は、昨年11月に北見市で開かれた北見地方アンサンブルフェスティバルで金賞を受賞し、全道大会に推薦されていました。

全道大会には、小学校14団体が出場、訓小は、合奏の部に出場し「ノスタルジックエアー・アンド・ジグ」という曲を演奏し、審査員から高い評価を受けました。



日本赤十字社の 献血功労者として

訓子府機械工業・北見農業試験場

日本赤十字社は、長年継続して献血運動に功労のあった団体を表彰していますが、平成25年度は、訓子府町内で2団体に金色有功章などが贈られました。

献血の活動20年以上の訓子府機械工業(株)には日本赤十字社金色有功章の盾が、また、5年以上活動している道総研北見農業試験場には日本赤十字社北海道支部長感謝状がそれぞれ贈られました。

贈呈式は、昨年12月24日に役場で行われ、菊池町長が訓子府機械工業の松田和之社長と北見農業試験場の志賀弘行場長にそれぞれ伝達しました。



日本赤十字社北海道有功章の盾を受ける松田社長



献血運動5年以上で感謝状を受ける志賀場長

受章おめでと〜うございます



瑞宝単光章

輿石英男さんに勲記・勲章を伝達

平成25年秋の叙勲で瑞宝単光章（消防功労）を受章した輿石英男さん（旭町）に昨年12月24日北見市役所で、オホーツク総合振興局地域政策部・山中博部長から勲章と勲記が伝達されました。

輿石さんは、昭和48年に訓子府消防団に入団、平成4年から消防団部長、平成9年から消防団副分団長、平成15年から消防団副団長を務め、平成23年11月末に勇退しました。

勲章と勲記の伝達を受けたあと、町役場を訪れ、菊池町長に受章を報告しました。